

# 観光ガイド よもやまばなし

## 《雪の平林寺半僧坊大祭》

4月17日は平林寺の半僧坊大祭である。この日は平林寺が一般に開放され、善男善女が集う唯一の日である。商業主義に走るお寺さんなら、人の集まり易い土日に行うのだろうが4月17日を厳守されるのは、さすが修行場平林寺ならではといえる。その大祭当日、目が覚めたら銀世界。毎年この時期は天候不順が多いが、真っ白な雪に覆われた半僧坊大祭の記憶がない。

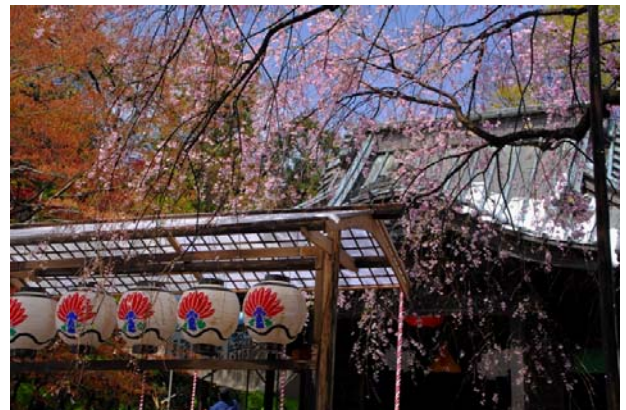
新座市観光ボランティア協会はPRのため、当日境内にテント張りのブース出展の許可を得て、早朝から準備をすることになっている。年配者が大半のため足元に気を配りながらの準備に入る。せっかくのお祭りがこの雪では残念だな〜と思いつつ、とにかく準備に専念。雪かきから始まった。路上に出店予定の露店も、戸惑いながらの準備に忙しそうであった。



午前10時。雲が切れ暖かな日差しが境内いっぱい射し、作業中の関係者一同は安堵の顔になった。



我が観光ボランティアガイドのテントは山門脇に置かれ、隣は消防団が風船を配るという絶好の場所にあり、所期の目的であるPR効果は抜群であった。用意したパンフレットの類はお稚児さん行列・御練りの頃には底を打つ。友人、知人が顔を見せ冷やかして帰るが、ガイド依頼も多数入りメンバーが対応に追われた。ついでの展示でテントの周囲に四季折々の平林寺・野火止の写真を飾ったが意外に好評を得た。改めて周辺の風景の美しさが再認識されたようだ。そうなんです。新座には見所がいっぱいあるのに見過ごされています。身近にあるので、当たり前と通り過ぎてしまうのでしょう。



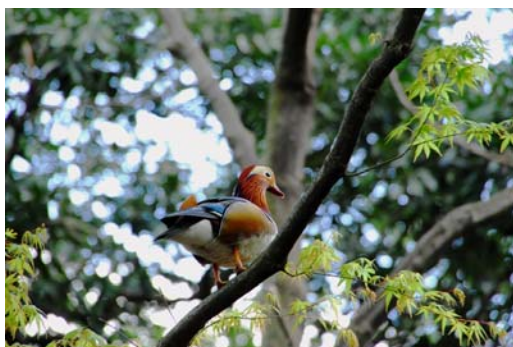
我々がガイド中に何げなく話したことが、喜ばれることがあります。人それぞれで興味の対象が違うために、こう言ったことはよくあります。ガイドをする立場からすると、気を付ける必要があるのがこのあたりです。自分の興味が聞き手に押し付けてはいけないでしょう。コミュニケーションをとりながら、お相手の興味のポイントを探ることが大切だと思います。

雪で始まった半僧坊大祭は最高の日和となりました。いつに無く稚児行列も長く、人垣の中を御老師ら60名の僧侶の御練りが半僧坊感應殿まで静かに続

きました。クライマックスの大般若経転読は毎年のことながら圧巻である。600巻の「大般若経」を分担して扇のように弧を描き、翻して操り『降伏一切大魔最勝成就!』と大音声で唱える様は一見に値する。感應殿を多数の善男善女が取り巻き、熱心に見守り御老師のご帰還の後を慕った。

無事大祭が終了。後片づけをして総門を出ると、平林寺大門通りは人波で埋まっている。10年ぶりといわれる土曜日の大祭は、天気も持ち直し、春らしい陽気につられ、大盛況の一日となった。

控室に全員集合し、反省会でお開きとなった。毎度のことながら有志数人での反省会二次会は、数本のお酒とお蕎麦で夜分まで賑やかに続いた事をお知らせいたします。



余談ながら転読の最中にガイド仲間が跳んできた。放生池にオシドリが飛来、檀家さんがすごく珍しいって言っているよと話す。押っ取り刀で駆けつけるも既にもいない。近くのお嬢さんがそっと木の上を指差した。水鳥が木に停まっているのは、普段見かけない図である。何回かシャッターを切ったうちの一枚を掲載します。

《ガイド二期 吉田紀生 記》